

日本水工設計(株)



東京支社下水道二部施設設計課

山本 修平さん

工学部土木工学科卒 入社5年目

アットホームな
雰囲気

日本水工設計は、上下水道を中心に河川、廃棄物までを手がける総合コンサルタント会社です。

本社は東京で、東北、東京、名古屋、大阪、広島、九州の6つの支社を置き、国内で広く事業を展開しています。近年は、海外事業にも力を入れており、国内外の水環境の保全に貢献しています。

社員数は約360人と大手コンサルタントと比べると、それほど大きくはありませんが、その分各支社との横のつながりが強く、転動してもすぐに馴染んでいけるアットホームな雰囲気があると感じています。また、上

国内外の水環境保全に貢献

設計した施設が形になり達成感

司は、若手社員の意見・提案に真剣に耳を傾けてくれますし、仕事上の相談も一緒に考えてもらえ、居心地の良い会社だと実感しています。

下水処理場やポンプ施設を設計

私が所属する下水道二部施設設計課は、下水処理場やポンプ施設の設計を手がけており、近年では下水道普及率が高くなり新設が少なくなっていることから、老朽化施設の改築・更新、長寿命化、耐震診断、耐震補強など

の業務が多くなっています。更新事業では、既存施設の敷地内に新しい施設をつくるケースがほとんどですが、設置

自分が設計に携わった下水道施設が形になり、順調に稼働しているのを見ますと、達成感ややりがいを感じます。また、お客様から「わかりやすい資料だね」「頑張ったね」と感謝や労いの言葉をかけていただいた時は本当にうれしいです。

就職活動ではよく言われるように自己分析が大事だと思います。就職すると少なからず何かを犠牲にしなければなりません。自分が何に重きを置くのかしっかりと考えて会社を選んでほしいと思います。また、大学生活では勉強は大切ですが、大学時代でしかできない経験もたくさんありますので、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。

スペースなどの制約条件から仮設計画を立てたり、レイアウトを工夫したりすることが求められ、腕の見せどころです。また更新後に運転管理しやすく効率的な施設とするためには当初の設計思想も十分に理解した上で対策を立てることが必要です。経験豊富な先輩方からいろいろ学び、自治体の方々から喜ばれる施設を設計していきたいですね。

技術力を高め一人前に



先輩社員と設計の打ち合わせ